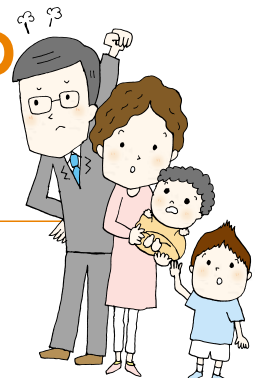


# 市民とともに市政を動かす



**「待機児童ゼロ」の看板に偽りあり！ 公的保育を守れ**



門川市長は「待機児童ゼロを達成」と発表しましたが、これは厚労省の待機児童の定義が変わったことを用いた見せかけの「ゼロ」です。党議員団は本市において申請したにもかかわらず900人超が保育所に入れていない実態を示して、保育所の増設・新設を求めました。

**逮捕者続出、繰り返される職員不祥事 憲法順守の立場で職員研修強化を**

2013年度以降、市職員の不祥事が続発し、9人の職員が逮捕されています。内容は飲酒運転から詐欺行為、強制わいせつにまで広がり、再逮捕された元職員は市長公印も使って公文書偽造までしていました。党議員団は公務労働に対する自覚を高め、配属後の法令順守の徹底、憲法を順守する立場に立って研修を行うよう求めました。

京都市はいまこそ  
**「原発ゼロ」の立場に立て**

大飯原発の運転差し止めを求める住民訴訟で、福井地方裁判所は5月21日、関西電力に再稼働差し止めを命じる判決を下しました。憲法で保障された人格権を最優先し、国民の命よりもコストを優先する考え方をきっぱり退けた画期的な判決です。「原発ゼロ」を求める世論と運動が生み出したものといえます。

日本共産党市会議員団は5月市会で、中長期的には原発に依存しないといいつながら、短期的には原発再稼働を認める市長の立場を厳しく批判。「原発ゼロ」の立場に立って、原発を「重要なベースロード電源」と位置づけた国のエネルギー基本計画の撤回を求めよと迫りました。

福井地方裁判所が  
**大飯原発再稼働**  
差し止めの画期的判決！



**リニア新幹線計画についての「見解」を発表、京都市長に申し入れ**

党市議団は党府委員会、府会議員団と連名で、リニア新幹線計画の撤回と京都駅ルート誘致運動の中止を求める見解を発表し、6月9日、市長に申し入れました（全文は、ホームページでご覧下さい）。

